

2018年5月発行 「塾ジャーナル」 73ページ抜粋

使い方の自由度が広がる ウイングネットの映像授業

明優学院 大学受験科 追浜校
塾長 星山 誠和

東京や横浜のベッドタウンとして知られる横須賀市追浜（おっぱま）にある明優学院は、高校生および既卒生を対象にした映像系学習塾である。

塾長の星山誠和先生は、大学在学中に大手学習塾で講師としてアルバイト勤務。その後大手学習塾に入社し教室長・大学受験科室長を経て、2017年1

月から現教室を開校している。

21年間の講師歴を通して、クリアしたいくつもの事柄が見えてきたという。それは高額な大学受験予備校の年間受講料をもっとリーズナブルにし、かつ質の高い授業を提供したいという思いだった。また、カリキュラムが固定している集団授業において、生徒が「わからない」箇所は千差万別であり学習進度も個人差があるため、個々の「わからないことからスタート」できるサポート体制の充実を図りたいと痛感していた。

星山先生は、このような課題を満たす学習方法としてウイングネットを選択。先生の考える塾のコンセプトに合致していたからである。

明優学院では、入塾の際に保護者と生徒へのヒアリングを入念に実施。まず最初に全1、500以上の講座、25、000以上のコンテンツという圧倒的な授業数の中から、個々のニーズに合わせてオリジナルの年間カリキュラムをハン



星山 誠和 塾長

ドメイドで作成し、このカリキュラムに沿って無料体験学習を開始。体験実施後に希望者は入塾するという流れだ。

現在、内申対策コースと難関大学対策コースの2つがあり、内申対策コースには、「ベーシックウイング」と「アドバンスウイング」がある。ベーシックウイングは、『教科書完全理解』を目的とした授業であり、学習テーマが細分化されているため、学校の授業の予習や定期テストでの高得点獲得を狙える。アドバンスウイングは、『授業内完全定着学習』が特徴であり、1回の授業は、講義（高1・高2・60分、高3・90分）と定着講義30分の構成だ。高1・高2には授業4回ごとに定着を確認する「ユニット定着テスト」があり、映像授業で起きがちな「わかつたつもり」が防止できる仕組みになっている。高3向けの講座は、通常カリキュラムを進めれば、大学入試対策まで学習を深めていけるように構成されている。

「難関大学対策コース」学研ブライムゼミは、大手予備校のトップレベルの講座を担当しリードしてきた実力ある講師陣による映像授業である。

「基礎的講座から難関校を目指すための講座まで、一流講師による最高の授業を、自分にあったレベルでベース配分を自由自在にできるのが強みです。わから



ない箇所は一時停止や再生機能を使い繰り返し見て学べます」と星山先生は話す。毎日のように通塾する生徒もいれば、週1や週2、受講時間も様々。高1生で入塾した当初320人中288番から31番（数1では6番）に成績が上がった男子生徒もいる。

「いくらい参考書があっても、生徒がそれを手に取るかどうかはアドバイザーにしたい。教育管理者の存在は重要です。一人ひとりの生徒にとって一番いい方法で結果を出させ、自信をつけてあげたい。その自信が生きる力につながると思いますが」と星山先生は結んだ。